



議会だより
News・from・the・Assembly



太良町

平成31年度一般会計予算

72億4,148万4千円

contents

6月定例会

- 6月定例会議案審議 ……1～3P
- 議案Q&A ……4P
- 一般質問 ……5～10P
- 調査報告等 ……11～12P
- 議会の主な活動 ……13P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集特別委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。



No.153

令和元(2019)年7月23日発行
初版発行／昭和56年8月1日

【ノウゼンカズラ】

6月定例会審議結果

6月定例会は、条例議案3件、事件議案2件、補正予算5件及び報告1件の計11件が町長より、また、請願2件及び意見書1件が議会より提案されました。審議結果は次のとおりです。
賛成＝○ 反対＝× 欠席＝欠 退席＝退 ※議長は採決に加わらない。

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長
		議決結果	待永 るい子	竹下 泰信	欠 員	江口 孝二	所賀 廣	平古 場公子	川下 武則	久保 繁幸	末次 利男	下平 力人	坂口 久信
報告 第1号	平成30年度太良町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 30年度から31年度へ繰越をした事業の繰越計算書(法面保護補修事業)の報告	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第31号	太良町森林環境譲与税基金条例の制定 森林環境譲与税の適切な管理運用のために基金条例を新たに定めるもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第32号	太良町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定 超過勤務命令の上限を定めるための規定を追記するもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第33号	太良町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 投票管理者等の報酬を改正するもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第34号	財産の取得 職員業務用パソコン130台の購入	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第35号	杵藤地区広域市町村圏組合規約の一部を変更する規約 杵藤地区広域市町村圏組合事務所の移転に伴い、同組合事務所の位置の規定を改正するもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第36号	平成31年度太良町一般会計補正予算(第2号) プレミアム付商品券換金業務委託料等1億5,398万4千円を増額補正し、補正後の予算総額72億4,148万4千円とするもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第37号	平成31年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 電算システム改修業務委託料等の補正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第38号	平成31年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第1号) 職員給与費等の補正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第39号	平成31年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第1号) 水道施設改良事業等2,000万円を増額補正し、補正後の予算総額9,000万円とするもの。	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
第40号	平成31年度太良町水道事業会計補正予算(第1号) 職員給与費等の補正	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-

令和元年 6月定例会

会期／6月7日～14日（8日間）
平成31年度 一般会計の補正予算総額 1億5,398万4千円
補正後予算総額 72億4,148万4千円

一般会計の主な補正

歳入

プレミアム付商品券事業費補助金 ……1,300万円
プレミアム付商品券事務費補助金 ……691万円
プレミアム付商品券販売収入 ……5,200万円
子ども・子育て支援事業費補助金 ……299万7千円
さが園芸生産888億円推進事業費補助金 ……4,087万7千円
B&G財団助成金 ……560万円
財政調整基金繰入金 ……3,082万5千円
公共施設整備基金繰入金 ……2,300万円
ふるさと応援寄附金基金繰入金 ……1,490万円

歳出

地域公共交通(タクシー)利用助成事業 ……366万1千円
(交通弱者の移動手段確保のためのタクシー券助成事業)
プレミアム付商品券事業 ……7,213万3千円
(低所得者や3歳未満(H28.4.2以降出生)の子育て世帯を対象とする地域消費喚起等事業)
敬老祝金支給事業 ……898万8千円
(75歳以上の高齢者に祝金(商品券)を贈る事業)
幼児教育・保育無償化事業 ……299万7千円
(幼児教育・保育無償化に係るシステム改修外)
さが園芸生産888億円推進事業費補助金 ……5,314万5千円
(ハウス施設、省力化機械等の整備に係る補助)
親元就漁給付金(新規就漁者に対する給付) ……360万円
河川補修事業(蓮十川護岸崩壊に伴う補修) ……1,000万円
多良小学校外構整備事業(防球フェンス、防球ネット等設置) ……2,300万円
多良小学校屋内運動場暗幕改修事業(経年劣化による暗幕取替) ……754万円
B&G海洋センター体育館照明設備改修事業 ……960万円
(第1体育館、第2体育館(武道場)の照明LED化)



一般質問

川下 武則 議員

有明海の漁業振興について

答▽海底耕うん等、漁場改善を行ってきた

議員 タイラギ、アサリ、海苔など本町を代表する魚介類が減退しているが。

町長 有明海沿岸市町水産振興協議会の一員として、豊かな有明海の再生、海苔の安定生産、魚介類の回復について要望を行ってきた。

議員 水産資源の水揚げがこの50年で一番少ないと新聞報道にあったが、今一度漁場の再生を国、県に働きかけることはできないか。

農林水産課長 まずは諫早湾の開門によって、本当に潮流が変わり魚介類の水揚げが減少したのか、確認ができればいいが、今やっている対策は対処療法的な作業であるので強く国等につていく。

議員 一日も早く手を打たないと、有明海再生はかけ声だけで終わってしまう。

町長 この有明海再生は我が町だけではできない。関係市町と取り組んでいきたい。

町道整備について

議員 巡回バスを導入するなら地区の中心地を通してもらいたい。そのためには、離合場所や町道等の整備が必要だと考えるが。

町長 現在運行経路等の計画を見直している。確定したところで危険箇所等があれば整備していく。

議員 安全、安心を考えたとき、最小限必要な整備があると考ええるが。

建設課長 町道は町民の方々の重要な交通網であり、太良町総合計画や中期財政計画にのっとり、計画的かつ効率的・経済的に整備をすすめる。

議員 コミュニティバス路線はどのように考えているか。

企画商工課長 現段階では、町全体で10のルート設定をしている。非常に町道が狭いと思うところも一部ある。

一般質問

待永るい子 議員

海苔養殖業対策をどうするのか

答▽関係機関と相談し対策を講じたい

議員 近年の海苔養殖業における経営体数・生産量・所得はどのような状況か。

農林水産課長 下表のとおり。

議員 海苔養殖業に対し具体的な支援策は。

海苔養殖業の実態

年季	経営体数	生産量	所得	
			たら支所の分	戸別平均
26	29戸	1,877万枚	2億175万円	1,120万円
27	24戸	3,523万枚		
28	23戸	2,059万枚	1億7,191万円	1,011万円
29	22戸	2,154万枚		
30	22戸	1,420万枚	9,942万円	584万円

農林水産課長 海苔共同加工施設とバラ干し加工施設の設置及び占用料の減免処分を行った。

議員 有明海の栄養不足の解決策の一つとして海底耕うんが有効と聞くが。

農林水産課長 国の補助事業や水産多面的機能発揮事業等を利用して事業を計画されているが、令和3年以降は未確定な状態。

議員 海底耕うんの後は肥料が必要だと考えるが。

農林水産課長 漁協等で定めた適正な使用法なら有効であると考ええる。

議員 肥料購入費用の補助金は考えているのか。

農林水産課長 支援案を検討中である。

議員 海底耕うんするための機械4台が必要だが太良町としては補助を考えているのか。

農林水産課長 機械の導入については漁協たら支所から要望があり、県の単独事業採択に向けて対応している。

議員 海苔の生産量減少時に事業資金借り入れの利子助成対策はあるのか。

農林水産課長 融資限度額100万円、貸付期間3年以内の均等償還がある。

議員 太良町周辺の淀んだ有明海のヘドロ除去作業を国に要望していくのか。

町長 除去作業は絶対必要だと思うので関係者と共に県、国に要望していく。

議員 有明海の環境整備に關しては持続してやってもらいたい。



町内小中学校の統廃合

議員 平成25年に小学校の児童数が100名を切った時が統廃合を考える時期だと判断した理由は。

学校教育課長 小学校で100名を切れば運動会が難しくなるし、中学校は50名くらいになるから。

議員 100名の根拠が理解できない。適正規模についてはクラス替え出来る子どもの数が必要と考えるが。

学校教育課長 必要ではあるが地域の実態や事情によりこの限りではない。

議員 太良町として適正規模を決めているのか。

学校教育課長 決めているが、今後は検討していくべきだと考える。

議員 統廃合問題について検討するための資料作成にはどれ位の時間を要するのか。

学校教育課長 ある程度の時間がかかると予想される。

議員 先送りすることなく一日も早く検討に入り太良町全体で話し合う体制づくりを進めてもらいたい。



具体的に決まった時点で、建設課とも協議をしていく。

第78回国民スポーツ大会について

議員 本町では、ソフトボール少年女子が種目になっているが施設整備をどのように考えているか。

町長 開催予定施設は、町営太良野球場とB&G運動広場を予定している。大会に向けて令和2年から3年に施設改修を計画している。

議員 改修内容はどのようなものか。

社会教育課長 中期財政計画をもとに、太良球場については、本部席・放送設備・スコアボード、外野フェンス、フェンス内部全面を計画している。

議員 どの程度の予算を見込んでいるのか。

社会教育課長 大会終了後の改修まで含めて約2億円。



国民スポーツ大会会場となる町営太良球場



一般質問

所賀 廣議員

油津児童遊園地の今後の利活用は

答▽多くの町民の方が活用できる施設に向けて検討していく

議員 介護しやすいより優しい長屋をもう一度検討しはどうか。

町長 老人長屋については利用調査など担当課、杜協と協議して取り組んでみたいと思う。

議員 公有財産有効活用検討委員会で平成30年に協議をした経緯がある、としているが何を協議したのか。

財政課長 陸上アワビ養殖、秋祭り休憩所、新しい遊具の設置、人工芝のグラウンドゴルフ場などの協議を行った。

議員 公共施設等総合管理計画の方針や対策については、平成31年度までに作成するとあるが具体的な方針、対策についての作業は進んでいるのか。

町民福祉課長 この計画については、まだ着手していない。

議員 急いで悪いことはない。できるだけ早く具体的な



町民福祉課長 費用をかけて遊園地にするなら、どれだけの需要があるのか、調査をする必要がある。

議員 かさ上げをして、トイレも作って遊園地にするのはどうか。

町長 利用方法によって、かさ上げをするのかどうか考える必要がある。

な方針、対策を考えていたきたい。それから前町長の答弁の中で、排水対策として残土処分によるかさ上げで整地をするといった具体的な考えているのか。

社会教育課長 グラウンドゴルフは年間5、6回使用されており、観光協会の管理下にある。観光スポットの面から考えて検討してみたい。

議員 できるだけ早く素案、具体案を作成していただきたいと思うが。

社会教育課長 担当課や上司と話し合い前向きに検討していきたい。



活用案が待たれる油津児童遊園地

議員 老人長屋、介護施設等福祉の充実という観点から意義深いものである。早急に立案されるよう大いに期待する。

町長 過去から何回となく話されている状況の中進んでいない状態である。いい活用方法を早く探っていきたい。早急に検討したい。

議員 再度、油津児童遊園地は秋祭り時に食事の場所として利用される。景観が良くなるよう早急に整備したかどうか。



一般質問

坂口 久信議員

町長の今後の施策は

答▽タクシー利用助成事業や敬老祝金、親元就漁給付金など

議員 自身初の本格的な予算となる今回の補正の内容は。

1) 利用助成事業を計上している。ほかに敬老祝金や親元就漁給付金を計上している。

町長 町長選挙期間中、特に要望が多かったのが、生活移動手段である地域公共交通についてであった。今回、地域公共交通（タクシ

議員 子育て世帯向けの住宅がまだまだ足りないと感じるが、亀ノ浦地区戸建住宅に続く定住促進住宅の建設についての考えは。

町長 亀ノ浦地区は戸建住宅というのが前町長の考えであったが、集合住宅であれば入居できる世帯が増えて良いと考えている。費用面など条件を十分検討するように担当課へ指示した。

議員 条件の良い農地も耕作放棄地がみられるような状況である。後継者不足解消や事業拡大、特産品開発のために町や農業委員会が

主導して、農地の集約化を図れないか。

町長 現在実施している農地基盤整備事業を積極的に推進し、荒廃園も基盤整備事業等を実施していく。高齢でも単年で収益を見込める野菜などの作付けを関係団体と協力し取り組みたい。

議員 後継者のいない方たちの働く場として、農地の集約はできないか。

農林水産課長 関係団体や農業委員会と相談をしながら考えていきたい。

議員 道越漁港浚渫工事の受益者負担軽減策はどうするのか。

町長 漁家数の減少を考えれば、負担率などの面で支援を考えている。

議員 敬老祝金の金額と方法は。

町長 75歳・80歳・85歳は1万円、88歳は2万円、91歳は3万円、95歳は4万円、100歳以上は初回5万円

でその後は各年1万円。町内で使える商品券方式としたい。

議員 通学路の安全確保はどうしているか。

町長 要望が出ている箇所は関係者で現地を確認し対応を検討している。交通事故だけでなく防犯の面からも通学路の設定を考えていただきたい旨教育委員会へ話している。

幼児教育・保育無償化に伴う今後の施策は

議員 10月に始まる幼児教育・保育無償化に伴う今後の施策は。

町長 これまで町独自に実施してきた第2子保育料無償化事業を引き続き実施する。

議員 今回の無償化に該当しない世帯を町独自で無償化することはできないか。

町民福祉課長 金額が多

であり、今後の検討課題。

議員 園児の給食費などの経費を町独自で補助できないか。

町民福祉課長 金額や公平性の問題、他市町との調整など慎重な考慮が必要。今後の国の政策を注視していく。

議員 ホームページで子育て支援の特集記事を掲載し町外へアピールしてはどうか。

町民福祉課長 ホームページに特集を組むなど広報に力を入れていく。





議員 これまで女性の立場、また祖母としてさまざまな子育て支援を提案してきた。他の市町にはない支援がなされていると思うが効果はどうか。

町長 太良町総合戦略の基

一般質問

平古場 公子 議員

地域活性化について

答▽交流人口の増大による地域活性化につなげていきたい

あるまちづくりを目指している。特に、少子高齢化対策や、子育て支援に力を入れ、結婚祝金や誕生祝金、第2子保育料無料化、小学校入学および中学校卒業祝金、高校生までの医療費助成、そして小・中学生の給食費の無料化などに取り組んでいる。また平成29年度末における合計特殊出生率は2・48と県内一位となり、子育て支援の効果のあらわれだと思う。

議員 昨年の6月定例会で、亀ノ浦の戸建住宅の質問で、前町長より30年度までにま



亀ノ浦定住促進住宅建設予定地

議員 31年度で全体計画戸数7戸のうち3戸分、6400万円を計上しているとのことだが、戸建住宅建設の予算と理解している。地元からは集合住宅の要望があるとのことだが町長の考えはどうか。

企画商工課長 カニやカキの賞味客である場合、また、海中鳥居だけが目的の場合、帰りに道の駅などで買い物したりなどが想定できる。昨年から栄町の有志の方がお客さんの数を役場の企画商工課に提供していただいている。12か月で約1500人という数字があがっている。1人1000円としても1500万円の経済効果が発揮されていると思われる。



注目が上がっている海中鳥居

議員 スポーツ、文化の面での交流人口増による地域活性化について、現在町内出身者の子どもたちはあらゆる文化、スポーツの面で活躍されている。特に太良高校の野球部は近年にない活気にあふれ、今年は16人の一年生が入部し、7人が町内に下宿されている。今後、交流人口増大につながると思うので、太良町からも何らかの支援はできないか。

町長 そういう要望が県から来た折にいろいろ検討し、支援できるものであれば支援していきたいと考えている。



一般質問

竹下 泰信 議員

標準保険税率はどのように決定しているのか

答▽運営協議会で協議し、保険税率は現況に据え置く

議員 新しい国民健康保険制度が30年度に発足し、運営主体が市町から県に移行した。累積赤字への対応、保険税率の決定、保険給付費基金の使途など、今後の運営はどうか。

町長 赤字の13市町（太良

町は除く）は、一般会計から繰入や県の貸付金を利用し解消。本町の保険税率は、運営協議会で協議し据え置き。基金は財源不足の際取り崩す。

議員 被保険者数と世帯数の動きはどうか。

健康増進課長 平成26年度は3569人、1674世帯、平成31年度は予算上2688人、1417世帯となっている。

議員 5年間で、被保険者数は881人、4分の1が減少し、世帯数は257世帯、道越集落戸数以上の世帯が減少している。保険税の収納率は被保険者数が多いと低く、少ないと高くなっている。不公平感がある

がどうか。

健康増進課長 標準的な収納率の目標は、県内一律94%になっている。収納率を達成しないとペナルティがあり、これは県が決定したものであり、不公平にはならないと考える。

議員 県が示した収納率と、現在市町が運用している収納率に差があるが、県が示した収納率で運用したらどうか。

健康増進課長 本町は、被保険者数は少なく収納率が高いが、県の方針で決定されたことであり答弁は難しい。

議員 本町が高い収納率を維持できているのは、滞納整理推進機構等を活用した対策強化等によるとのことだが、この内容は。

税務課長 この機構は、平成21年度に17市町で滞納整理促進に取組むため発足。本町では8名の職員を派遣し、滞納額の縮減に努めた。滞納繰越調定額の割

合が、目標である3%以下となったので、30年度末で解散した。

議員 本町では平成25年度以降、一般会計および基金から国民健康保険特別会計への繰入はあったのか。

健康増進課長 一般会計からの繰入れはないが、基金からの繰入れは平成27年度に医療費が伸びたため、3000万円を繰入れている。

議員 累積赤字を解消した市町が13市町あったが、今後、赤字が発生した場合、黒字市町への影響はないのか。

健康増進課長 収支決算については各市町で行うようになっている。赤字はその市町が責任を持って解消することとなるため、黒字経営市町への影響はない。

議員 本町の保険税率の改正は、いつ行ったのか。

健康増進課長 23年度から現行税率となっている。

議員 9年間据え置かれていますが、県が示した本町の標準税率は、現行税率より低く設定されているが妥当か。

健康増進課長 運営協議会の中で、これまでの収支等検討し、現行税率を維持している。

町長 平成23年度の保険税率改正は、平成10年には5億円ほどあった基金が、42万円ほどに減少したため、今の税率となっている。現在の基金残高はまだ7000万円しかない。

議員 2027年度に県内一本化となっているが、質の高い地域医療の充実と不公平感のない安定的な運営を求める。



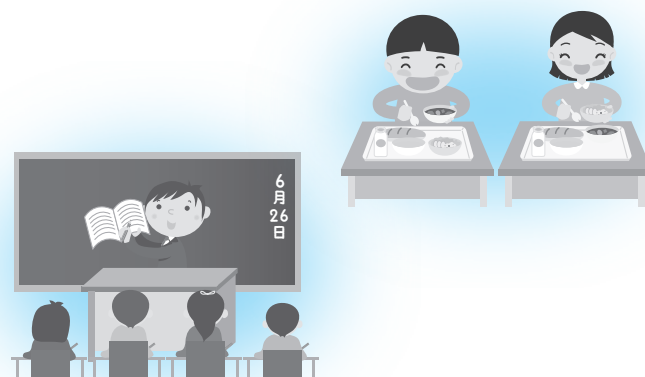
学校現場視察

と き 令和元年6月26日 **場 所** 町立多良小学校

参加者 西部教育事務所、町内小中学校長、教育委員、町長、副町長、町議会議員

感心した点

- ①元気にあいさつができる
- ②静かに学習ができる
- ③授業中の活発な意見
- ④廊下を走る児童がいない
- ⑤授業を楽しく工夫している教職員の姿



当日の給食は太良町産のうまかもん給食でした。おいしい鶏肉に全員で舌つづみを打ちました。
ごちそうさま~~~~~

令和元年度全国町村議会議長・副議長研修会報告

5月27日から29日までの日程で、令和元年度全国町村議会議長・副議長研修会に出席しました。

全国から926町村、約1,700名の参加があり、全国町村議会議長会の櫻井正人会長の開会挨拶で始まり、山梨学院大学法学部の江藤教授外2名の講師の先生より、「町村議会のあり方に関する最終報告」についての説明がありました。今回の最終報告で争点となった議員報酬・議員定数をめぐる基本的な考え方や、議員報酬と議員のなり手不足の関連性、また、町村議会における「議員のなり手不足問題」への今後の対応などについての考えを述べられました。その中で、全国の小規模自治体が抱える「議員のなり手不足問題」については、定数削減が解決策ではなく、多様な民意を的確に反映するためには、必要な定数と報酬を確保することが重要であることを述べられました。

その後、町村議会特別表彰を受けられた長野県喬木村（たかぎむら）、鳥取県若桜町（わかさちょう）、京都府与謝野町（よさのちょう）の名議長等から、それぞれの議会における小規模自治体としての議会のあり方について、先進的な取り組みの事例発表がありました。議員へのなり手不足が問題となっている昨今、いずれの町議会でも、議会活性化と議会に対する住民の関心を高めるための取り組みが行われており、今後の太良町議会のあり方について改めて考えさせられる研修になりました。



学校の統合について視察 ー総務常任委員会ー

と き 平成31年4月23日、4月24日

場 所 大分県玖珠町・大分県九重町

テーマ 「学校の統合について」



	玖 珠 町	九 重 町
新中学校	くす星翔中学校(7校を1校に統合)	ここのえ緑陽中学校(4校を1校に統合)
検討開始	平成23年	平成7年
きっかけ	少子化の進展 適正規模の問題	少子化の進展 適正規模の問題 施設の老朽化
地域の理解	町内7校区で 地域住民の意見交換会2回 保護者への説明会2回 地域住民への説明会	町民アンケートの実施 説明会を町内10か所 述べ22回の開催
取り組み方	新中学校開校推進協議会を設置、 PTA、自治会、教育委員会、小中学校、議会が一体となり推進	新中学校建設推進協議会を設置、PTA、自治会、教育委員会、小中学校、議会が一体となり推進

太良町の課題

- ①統合の是非だけでなく将来を見越した学校の適正規模・適正配置の検討
- ②執行部のリーダーシップが発揮されていない
- ③スケジュールが示されていない



有害鳥獣対策の実態を視察 ー経済建設常任委員会ー

本委員会では有田町及び武雄市で、以下のとおり視察、研修を行いました。

と き 平成31年4月25日

場 所 有田町役場、武雄市役所、武雄地域鳥獣加工処理センター

○有田町のイノシシ捕獲頭数は平成29年度507頭、30年度610頭となっています。

捕獲した有害鳥獣は業者に処分委託し、業者回収まで一時的に保管する保管用冷凍庫が整備されています。電気料金は年間40万円程度、業者委託料は100万円前後、全額町が負担しています。今後の課題は、猟友会員の高齢化に伴う若手会員の加入、育成の必要性を挙げられていました。

○武雄市では年間約2,000頭のイノシシが捕獲され、次の取組みが実施されています。

- ・捕獲対策として、はこ畝の設置、捕獲実施隊「トッテクレンジャー」の結成
- ・防除対策として、ワイヤーメッシュ柵、電気牧柵の設置
- ・棲分け対策として、レモングラスの栽培とイノシシパトロール隊の結成など、猟友会と連携し事業を実施しています。



また、イノシシを食資源とするため、鳥獣食肉加工処理施設が整備されています。

年間約100頭が処理され、主に関西方面に出荷し、年間約1,000万円の売上げとなっています。今後の課題は、処理頭数の増加と部位を活用した新商品の開発とのことでした。

本町の有害鳥獣対策も創意工夫した、新たな取組みの必要性を感じた視察、研修でした。

議会の主な活動

4月～6月

6月	5月	4月
27 ・議会広報編集特別委員会	28 ・佐賀県選出自民党国会議員との行政懇談会	26 ・4月臨時会
26 ・学校教育現場視察(多良小学校)	29 ・令和元年度町村議会議長・副議長研修会	26 ・議会運営委員会
21 ・第2回太良町振興計画審議会	22 ・第73回佐賀県町村議会議長会臨時総会・議長会議	25 ・経済建設常任委員会行政視察
14 ・6月定例会議案審議	21 ・佐賀県後期高齢者医療広域連合5月臨時会	24 ・総務常任委員会行政視察
12 ・議案調査	15 ・杵藤地区町村議会議長会定期総会	19 ・太良町振興計画審議会
11 ・6月定例会一般質問	15 ・全員協議会(例会)	19 ・太良町戦没者慰霊祭
7 ・全員協議会(例会)	11 ・平成31年春の交通安全県民運動街頭指導	17 ・全員協議会(例会)
7 ・6月定例会招集		11 ・小・中学校入学式
4 ・議会運営委員会		10 ・太良高校入学式
		9 ・議会広報編集特別委員会
		7 ・太良町消防団入退団式
		3 ・議会広報編集特別委員会
		1 ・町内小中学校教職員赴任式



平成31年度(4月～6月分)
議長交際費の支出状況

種別	件数	支出額(円)
祝儀	4	20,000
会費	1	3,000
慶弔	1	10,000
贈呈	—	—
謝礼	2	8,480
その他	—	—
合計	8	41,480

議会クイズ!!

お買物券が当たる!

Q 太良町議会に常任委員会はいくつあるでしょうか?

A ① 2つ ② 3つ ③ 4つ

ヒント: 議会だより11ページをご覧ください。

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名
・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 太良町大字多良1-6
太良町議会事務局「議会クイズ係」宛

※締め切り/8月15日(木) 消印有効
※当選発表はお買物券の発送(抽選)を
もって代えさせていただきます。

みなさーん
議会に対する意見
などをどんどんお寄せ
下さい。

私の一言

議員の質を高め、
議会の活性化を。
— 伊福地区町民 —

編集室より

本年は統計開始以来、
最も遅い梅雨入りとなり、
町民の皆さまは水不足に
大変苦勞されたことと思
います。

さて、今回が私たちの
発行する最後の議会だよ
りとなりました。議会活
動に関心をもってもらえ
るよう紙面の改善に取り
組んでまいりましたが、
いかがでしたでしょうか。

ところで、8月4日は
太良町議会議員選挙の投
票日となっております。
皆さま投票所へ足を運ん
でいただきますようお願い
いたします。

編集委員会

委員長 待永るい子
副委員長 竹下 泰信
委員 川下 武則
委員 江口 孝二